

委員の皆様より御意見をいただきたいポイント

第3期健康秋田21計画については、資料3の「第3期計画 計画骨子概要」に記載のとおり、第2期健康秋田21計画の最終評価において明らかとなった課題に対応するとともに国の次期計画である健康日本21（第三次）の方針に合致する取組を盛り込んだ内容となっています。

各資料（主に資料3及び資料4）を御覧になっていただき、次の点について御意見を頂戴できればと存じます。

※9月26日に、本審議会の健康秋田21計画企画評価分科会を開催し、同様の内容について、意見をいただいております。

1 第3期計画の基本方針について

骨子案では、資料3に記載のとおり、「個人の行動変容と健康状態の改善」、「社会環境の充実」、「ライフステージごとの特有の健康づくり」の3点を第3期計画の基本方針としています。

「個人の行動変容と健康状態の改善」では、生活習慣病の一次予防・重症化予防だけでなく、フレイル予防やこころの健康づくりなど心身両面の健康づくりを推進することとしています。

「社会環境の充実」では、社会参加の取組を重点的に推進するとともに、健康に関心の薄い層に健康づくりの取組を促し、無理なくその取組を実践できる環境の充実に努めます。

「ライフステージごとの特有の健康づくり」では、これまでは働き盛り世代を取組の重点世代としていましたが、肥満傾向児の増加など、子どもに関する健康の指標が悪化していることや、高齢化が著しい本県においてはロコモ・フレイル予防などの壮年期からの健康づくりが重要となることから、各ライフステージに応じた全世代的な健康づくりを推進することとしています。

以上が、骨子案での基本方針の概要ですが、この方向性について、盛り込むべきポイントや考慮すべき点などについて、御意見をいただきますようお願いいたします。

2 第3期計画の指標設定について

第3期計画における取組を評価する指標の案を、資料4において一覧として整理しています。

案の指標に加えて設定すべき指標などについて、御意見をいただきますようお願いいたします。

なお、表の見方については次のとおりです。

【表の見方】

この資料では左側に第2期計画の指標、右側に第3期計画における指標をまとめています。

第2期計画の指標では、各指標について、「継続」「廃止」など第3期計画での取扱いを示しています。

第3期計画の指標については、「新規（変更含む）」欄には、新たに追加となった指標や第2期計画から内容が変更となった指標に○をつけています。

「国計画」欄には、○は国計画と同一の指標、△は同一ではないが趣旨が同じ指標、×は国計画において指標の設定なしという分類をつけています。

3 第3期計画の骨子案における取組の方向性について

資料5は計画の骨子案となります。

こちらの資料の23ページ以降が、計画期間中に取り組む健康づくりに関する各分野の分野設定のねらいや施策の方向性等になります。

各分野の取組についてご確認をいただき、盛り込むべき施策の方向性等について、御意見をいただきますようお願いいたします。

※各分野において、「健康寿命の延伸に向けた道筋」、「具体的な実践例」という項目を設けておりますが、こちらについては今後作成する項目のため、空欄となっております。

（「健康寿命の延伸に向けた道筋」は各分野の健康寿命の延伸に向けたロジックモデル、

「具体的な実践例」は健康秋田いきいきアクションプランの内容を第3期計画に盛り込むことに伴い、各分野における県民向けの実践例を示す予定です。）

4 その他

その他、第3期計画の策定に当たっての御意見等があればお知らせください。

いただいた御意見等につきましては、検討の上、第3期計画への反映について整理させていただきます。